

科目名 (Eng)		環境解析評価論 (Environmental Analysis and Evaluation)								
担当教員		高荒 智子								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学習単位科目
		各専攻科共通専門関連科目	2	後期	選択	2	30	関連	A	学修単位
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-2), (A-4), (B-4) 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1), 2). JABEE基準I(1)との対応：【機械電気/物質環境】(a),(b),(d)-(1) 【ビジコミ】(a),(b),(d)-(4).									
授業の概要と方針		環境保全型社会を構築していく上に必要な環境計画のあり方および環境評価方法について学ぶ								
到達目標		①環境に対する基本的な事項について把握する ②環境計画のあり方，評価方法について理解する								
授業計画										
	週	授業項目			理解すべき内容			事前学習		
後期	16	環境システム（１）			自然環境					
	17	環境システム（２）			都市環境					
	18	環境システム（３）			大気環境					
	19	環境システム（４）			土壌環境					
	20	課題			まとめ					
	21	地球環境問題（１）			環境問題の経緯					
	22	地球環境問題（２）			環境問題の国際的な動向					
	23	環境保全の方策（１）			措置の種類					
	24	環境保全の方策（２）			環境税					
	25	環境保全の方策（３）			排出権取引					
	26	環境影響評価手法（１）			ライフサイクルアセスメント					
	27	環境影響評価手法（２）			その他の環境手法					
	28	環境影響評価手法（３）			演習１					
	29	環境影響手法（４）			演習２					
	30	まとめ			総括，学習内容の確認					
試験について		後期試験を実施する								
評価方法		定期試験70%，課題など30%								
教科書		プリント配布								
参考書										
関連科目										
履修上の注意		授業内容の理解に努めると共に，ニュースや新聞など社会の動向にも目を向け広い視野で学習すること．自学自習の確認方法—定期的に課題を与え，提出を求める．理解度は定期試験で確認する．								